

2016.08.04

第40回日本産業衛生学会関東産業衛生技術部会研修会の開催案内

実行委員長 順天堂大学 医学部 衛生学講座
北村 文彦

メインテーマ：

化学物質の経皮吸収曝露を防ぐための化学防護服, 化学防護手袋に関する最新の情報を提供します

近年、経皮吸収曝露防護のために使用されている化学防護服、化学防護手袋（以下、服、手袋と略す）に関する情報が報告、注目されている。

・オルトトルイジンの膀胱がん発生における労働安全衛生総合研究所による調査報告（災害調査報告書（A-2015-07）福井県内の化学工場で発生した膀胱がんに関する災害調査、2016年5月報告）では、使用していたゴム手袋の透過等からの経皮吸収による曝露が危惧された。

・2015年9月、厚生労働省は化学物質の飛沫に曝露することによる薬傷、やけどなどの災害が年間300件以上発生しており、対策として保護具（服、手袋や保護眼鏡）を使用するよう指導している。（平成26年度有害物の接触による死傷災害466件のうち、薬傷、やけどなどが318件）

・2015年度、服に関して11の日本工業規格（JIS規格）が改正あるいは制定されたが、ユーザーである使用者が内容を理解していない。

・2016年6月から化学物質によるリスクアセスメントが実施されているが、コントロールバンディングによるリスク評価で、経皮吸収によるばく露防護が必要と記載されたとき、どの材質の服、手袋を使用したらいいか作業現場が困っている。

・厚生労働省は服、手袋としてJIS規格適合品を使用するように指導されているが、どの製品を選定、使用したらいいのかわからない。また、SDSの8番の項目；曝露防止及び保護措置に記載の保護具は、適切な保護手袋、保護服を着用するようというだけで、どの材質を選定したらいいのかわからない。

今回、服・手袋について理解するために、今回のJIS改正、制定に携わった専門家やメーカーの責任者の方をお招きして講演会を計画しました。

学会員以外の方でも参加できます。多くの方のご参加を期待しております。

●日時：日時：2016年10月7日（金） 13時から17時、（12時から受付を行います）

●会場：順天堂大学医学部 D棟8階のカンファレンスルーム（JR御茶ノ水駅下車：下記の地図を参照して下さい。） 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

●参加費：1000円（資料代として）

●参加申し込み、問い合わせ等：（参加希望者は前もって田中宛にメールでご連絡頂ければ幸いです）

担当者：田中茂（関東産業衛生技術部会部会長、十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科
stanaka@jumonji-u.ac.jp）

TEL 048-477-0555 FAX 048-478-9367

緊急連絡先 田中茂 携帯（09024604279）

（なお、会場が満席になり次第、受付を締め切りさせていただきます。ご了承ください）

●研修プログラム

13:00 から 13:10

- ・開催にあたって 実行委員長 順天堂大学 医学部 衛生学講座 北村 文彦

13:10 から 14:10

- ・「化学防護服」「化学防護手袋」の関連 JIS 規格の改定、制定内容と進行状況
アゼアス株式会社 規格・研究課 課長 磯田 実

14:10 から 14:50

- ・JIS T 8115 及び JIS T 8030 化学防護服材料に対する耐透過性試験について
株式会社重松製作所 主任研究員 稲井 巡

14:50 から 15:00 休憩

15:00 から 15:45

- ・最近の化学防護服の動向 (RCF、インジウム、三酸化アンチモン、オルトトルイジン等)
アゼアス株式会社 防護服・環境資機材営業部 第四課 課長 武居 信英

15:45 から 16:30

- ・最近の化学防護手袋の動向 (オルトトルイジン、透過試験、その他)
十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科 田中 茂

16:30 から 17:00

- ・質疑応答

会場：



順天堂大学 所在地 東京都文京区本郷 2丁目1番1号
電話 03-3813-3111(大代表)
URL <http://www.juntendo.ac.jp>

<最寄駅からのアクセス>
JR線「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口) 徒歩7分
東京メトロ(丸の内線)「御茶ノ水」駅下車 徒歩7分
東京メトロ(千代田線)「新御茶ノ水」駅下車(B1出口) 徒歩9分